筑後市社会福祉協議会 / 広報

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに … それが社会福祉協議会の目標です。

筑後市社会福祉協議会

(〒833-0032 筑後市野町680-1)

52 - 3969TELFAX

53 - 6677mail info@chikugo-shakyo.or.jp URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

もし認知症になった





筑後北小学校区学童保育所「わくわく共和国」の子どもたちが撮影に協力してくれました

とかもしれません。

認知症とともに生きるこ

きることになっていくのです。 ることが周りの につながり、 「老い」や「弱さ」をオープンにす いかけではないでしょうか? 認知症を隠すのではなく、 ひいては自分らしく生 理解」 ゃ 「共感」 自分の

ように関わってほしいですか?」

ことだろうと思うのです。

認知症になったら、

周りにどの

た次世代で活躍する子どもたちのた

身近な人と話してみません

自分らしくあり続けるために、

| 「老い」のオープンが

を考える時代でもあるのです。 分らしく生きていくために必要な問 ても自分らしく生きていくには?」 冒頭の言葉は、高齢になっても自 認知症の予防は大切です。 かしその一方で、「認知症になっ

約4%が、9歳以上では約6%の方 るとしたらどうでしょう? が認知症だそうです。 ように関わってほしいですか?」 わり方などは知る機会が増えまし こんな質問に、どう答えますか? 認知症の理解、 ある統計によれば、85~88歳では 認知症になったら、周りにどの 寿を全うすることは 自分自身が認知症にな 認知症の人への関 長寿を全うす のです。 が伝わりにくい社会」になっている つつある、 超高齢社会なのに子どもに「老い

しかし、

とも言われます。

自分らしくあるために 丁どもを育むために

めには、「老い」や「弱さ」を見せ 子どもたちを育む上でとても大切な ることによる「理解」や「共感」 多いのではないでしょうか。 分を大切にできる子」「思いやりの ある子」に育ってほしいと願う人は 子どもたちには、「優しい子」「自 そのた が、

うのは年に数回のみという家庭も多 うか。核家族化が進み、 いでしょう。 い」をどれくらい知っているでしょ いう時代ですが、子どもたちは さて、 今や4人に1人が高齢者と 地域のつながりが薄れ 祖父母に会

この広報紙は、点訳・音訳の広報も発行しています。希望の際は気軽にお尋ねください。

障害のある子どもの「きょうだい」 同法人は、約20年にわたり病気や

居場所活動やイベント企画など

きょうだいも主役になれるよ と伝えています」と話されま

ども支援・ヤングケアラー支援など

居場所づくりのポイントや子

「どんな気持ちがあってもいいん

々な気持ちを持つきょうだい達

いんだよ」を伝えたい

について学びました。

2024年(令和6年)1月1日 (2)校区福祉会

研修会 愛情のシャワー」

連絡協議会

子どもが「子ども」でいられるために 居場所づくりのヒント と 「安心」 が

を応援する活動を行なっています。

られるように」を切り口に、 この日は「子どもが『子ども』でい ていただきました。

お話し

「世間の目」「将来」「結婚」 「親亡き後」悩みは様々…。

孤立感」「プレッシャー」「自己肯定 うだいが不安に感じ、悩んでいます。 出産」「親亡き後」などは、多くのきょ 間の目」「将来」「職業選択」「結婚・ ります。ですが、「親との関係」「世 感の低下」などが紹介されました。 恥ずかしさ」「怒り 嫉妬」「寂しさ て、「不安・恐怖」「罪悪感」「困惑 そんなきょうだいの気持ちとし きょうだいの悩みはそれぞれ異な

よりよい地域デイサービスに向けて 西牟田校区福祉会 研修会

「どんな気持ちがあっても

会」が研修会を開催。

NPO法人し

ぶたね (大阪府)

とオンラインでつ

会で組織する「校区福祉会連絡協議

市内11の校区福祉 られるように 子どもが「子ども」



12月3日(日)、西牟田校区福祉会の研修会 が行われました。

筑後市レクリエーション協会から講師を招 き、地域デイサービスで活用できるレクリエー ションについて、約 90 分学びました。

講師からは紙コップや広告紙、トイレット ペーパーの芯など身近なものを使ってできる レクリエーションやゲームが紹介されました。

参加者からは「地域デイサービスはもちろ ん、多世代交流活動でも使えそうなものがた くさん!今後の活動に役立てていきたいです」 といった感想が話されていました。

「災害」 と「支え合い」を学ぶ 下妻校区福祉会 視察研修-



11月23日(祝)、下妻校区福祉会の視察研 修が行われました。

視察先は熊本地震震災ミュージアムKIOKU (南阿蘇村)。2016年の熊本地震の記録や教訓 を学べる施設で、被災状況や復興の様子の映 像を視聴し、震災遺構の展示などを視察しま した。また、ガイドからは「自然との共生」「人 と人のつながり」の大切さが説明されました。

参加者からは「日頃からの近所付き合いが 大事なことを実感した」「普段の福祉活動がい ざという時にも役に立つのだと思った」など、 感想が話されていました。

ふくおか・筑後きょうだい会 に

※障害のある人の 兄弟姉妹の会です

入会しませんか?

次回定例会(会場 筑後市総合福祉センター)

● 2月18日(日)14:00~16:00(参加費100円)

問合せ●ふくおか・筑後きょうだい会

MAIL chikugo_kyoudai@yahoo.co.jp

●筑後市社会福祉協議会 | TEL | 52-3969 |

一愛情のシャワーを出しっぱなしに、 支援する・される、 支援につながるハードルが高くな よりも連帯を、

を通した交流を継続されています。 として、次のことを紹介されました。 ポイントの一つは 大人が失敗する姿を見せる」 いつも同じ人でいること(安定感 そのような中、心掛けていること

> 本人が「居場所だ」と思えた時 もらう姿を見てもらう

大人が失敗する姿、

フォ

 \Box 1

「きょうだいたちが子ども時代を そこが居場所になる

出して過ごせるように」。 安心の中で『子ども』としてて過ご そ居場所になります。 葉で研修は終わりました。 せるように」。「大人も自分にOKを 条件なしでの肯定の大切さ」を学 子ども自身が居場所だと思えてこ 本人の気持ちを大切にすること、 そんな言

んだ研修となりました。

ひきこもり家族相談会

◎と き:1月18日(木)13:00~16:00 (毎月第3木曜日13:00~16:00実施)

◎ところ:筑後市総合福祉センター

- ・相談希望の方は、1月11日(木)17時まで にご予約ください。(1日限定3組)
- ・原則、来所での相談となります。
- ・匿名での相談も可能です。

問合せ・予約は筑後市社会福祉協議会へ TEL: 52-3969 FAX: 53-6677

不登校・ひきこも)の方の家族会 サルビアの会に来てみませんか?

同じ立場同士なら話せる!分かり合える!

1月**14**日(日)10:00~11:30

家族向けの学習会 会 場 筑後市総合福祉センター

対象者)不登校やひきこもりの方の家族

申込み 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969

気軽にお立ち寄りください

精神障害のある人のための居場所・交流スペース

かたる~むの1月の予定

と き 1月12日・26日(金)

 $13:30 \sim 15:00$

★予約不要・時間内出入り自由

問合世 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677 Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

ひとり親家庭の子のための学習支援 一ボランティアを募集しています

ゆったり感、

ひとりじゃない)、

フラットな気持ちで声を聴かせて

「ただ聴くこと」を大切



母子寡婦福祉会では、「ひとり親家庭の小・ 中学生のための学習支援教室」を手伝ってく れるボランティアを募集しています。

子どもたちとのコミュニケーションを大切 にしながら実施中!お気軽にお問合せくださ い(利用希望者も募集しています)。

と き 毎週火曜日 19:00 ~ 21:00

ところ 筑後市総合福祉センター

内 容 授業の補習などの学習支援、見守り

その他 交通費あり、ボランティア保険加入

資格・経験等不問。月1回から可。

問合せ 筑後市社会福祉協議会 TEL52-3969

社会福祉事業資金寄付

〇岡田幸代様 (下妻)

から紙オムツの

寄付がありました。

○矢加部まゆみ様 (溝口南)

から紙

ムツの寄付がありました。

寄付の部

永松

正毅

様

敌

久美子様)

前津

○匿名様(羽犬塚)から紙オムツ・食

品の寄付がありました。

松波 政雄 雅巳 様 様 (故 財津トミ子様) 敌 上原々北

○JAふくおか八女女性部様から食品

日用品の寄付がありました。

談様 レイ子様) 正彦様 二本松 和泉西 溝口南 前津

馬場 友清

裕子

様 様

敌敌

善則

様

敌

貝田

弘典

様

敌

茂實様)

下富久

○JAふくおか八女よらん野様 (株プレシア様 (下北島) の寄付がありました。 から野菜の寄付がありました。 からお菓子

般寄付の部

【いずれも11月1日~11月30日まで】

〇大牟田柳川信用金庫様 (大牟田 〇松永清美様 から現金の寄付がありました。 付がありました。 (野 町) から現金の寄

計三三〇、〇〇〇円

★子育て世代を食で応援プロジェクト

寄付でいただいた食品(お米など)を無料配布します。

ح 1月19日(金)17時~18時 配布場所 筑後市総合福祉センタ

○匿名様から食品の寄付がありました。

からお菓子の寄付がありました。

〇ユーコーラッキー

筑後店様(長浜)

〇仁科芳江様 (上町) から紙オムツ・シャ

ワーチェアー・の寄付がありました。

)野田製菓様

(八女市)

から黒棒の寄

預託の部

(物品口

座

付がありました。

玆 小中学生の子どもがいる世帯 象 *筑後市在住の方限定(ひとり親家庭の方は除く。 偶数月のフードパントリーをご利用ください) *事前申し込みは必要ありません。

JA ふくおか八女女性部様から寄付 「子ども支援に役立てて」



「子ども支援をしたい」 「食品口スをなくしたい」 そんな思いから、様々に 声をかけられて食品・日 用品を募集。 この日の寄 付となりました。

食を通した支援や地域福祉活動に活用させてい ただきます。

大牟田柳川信用金庫様から寄付 「未来への架け橋」に



社会(地域・環境) への貢献を目的とし たSDGs福祉応援 定期預金「未来への 架け橋」として寄せ

られた定期預金の 0.01%相当額を、大牟田市・ 柳川市・みやま市・荒尾市・筑後市の各社協に 寄付していただきました。

> ・仲間が言ってくれた。この『無条件・ りも嬉しかった」とも話されました。 の肯定』が、励ましやアドバイスよ まらず、死も意識した」。 れてしまったことが原因」。 あなたはあなたのままでいいよ。と 一方で、「うつ病を打ち明けた時、 不眠や無気力に悩まされ、 環境の変化や被災などで、 うつ病を経験した女性の話です。 心が疲

生きれる地域だと思うのです。 が大切なのかもしれない。 では…。だからこそ「無条件の肯定 会は、生きづらい社会だ」。 少ない。つらい気持ちを話せない社 は、話さないだけで多くおられるの は多いのに、オープンにできる人は このような生きづらさを感じる人

言葉があふれる地域は、自分らしく 「あなたはあなたのままでいい」の な人は多いのかもしれません。

「うつ病や心の不調を抱えている人 ただ、女性はこうも言いました。 い状況をオープンにすることが苦手 25%程度と言われます。自身のつら る病気です。しかし、受診するのは ることの大切さを示唆しています。

この話は、つらい状況を打ち明

うつ病は、

約15人に1人が経験す